



令和8年10月15日

九州地方整備局

「令和9年度 発注者支援業務等の発注における技術提案評価テーマ（留意点）」の事前公表について

翌年4月から履行を開始する発注者支援業務等（発注者支援業務、公物管理補助業務、用地補償総合技術業務）の発注手続き期間は、土木コンサルタント等業界の繁忙期と重なっており、中でも入札公告から技術提案書提出までは、年末年始を跨ぐ期間となります。

これらの状況を踏まえ九州地方整備局では、下記のとおり、令和9年度発注者支援業務等の技術提案評価テーマ（留意点）を事前に公表して技術提案書の検討期間を拡大し、各社の入札参加意欲の向上による競争性の確保、技術提案内容のさらなる充実化及び各社の負担軽減を図ります。

なお、令和9年度発注者支援業務等の契約締結は、当該業務に係る令和9年度本予算が成立し、かつ予算示達がなされることを条件とします。

記

1. 対象業務

令和9年4月に履行を開始する九州地方整備局発注の以下の業務（港湾空港関係業務を除く）

○発注者支援業務【積算技術、工事監督支援、技術審査】

○公物管理補助業務【道路許認可審査・適正化指導、河川巡視、河川許認可審査、ダム管理、堰・排水機場管理】

2. 技術提案評価テーマ（留意点） 別添一覧表のとおり

【問い合わせ先】

九州地方整備局 代表電話番号：092-471-6331
直通電話番号：092-476-3546

九州地方整備局	企画部	技術開発調整官	イシバシ 石橋	ケンイチ 賢一（内線：3120）
		技術管理課長	ナカシマ 中島	ノボル 昇（内線：3311）
		技術管理課	課長補佐	ツグマ 津隈
				ヒサツグ 久嗣（内線：3314）

令和9年度 発注者支援業務等の技術提案評価テーマ(留意点)

業務種別	令和9年度	
	留意点	判断基準
河川巡視支援業務	業務対象河川の河川巡視における、施設の異常及び違法行為等を適切に確認するための方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 施設の異常および違法行為等を適切に確認するための取り組み(人材育成(堤防等施設点検結果・許可工作物点検結果等の把握)、組織体制(バックアップ体制等)等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
河川許認可審査支援業務	申請書(新規・変更・更新)内容の技術的な審査にあたっての着眼点及び留意事項について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 各種申請書の技術的な審査にあたっての組織体制や技術力確保などの取組みについて、具体的に説得力がある場合に優位に評価する。
ダム管理支援業務	業務対象ダムの出水時(事前放流を含む)、地震発生時および災害時における的確な業務実施、体制確保に向けた着眼点及び留意点について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅され、優れている場合に優位に評価する。 《実現性》 出水時(事前放流を含む)、地震発生時および災害時における的確な業務実施、体制確保のための具体的な取り組み(実施内容、情報伝達、組織体制)について、提案内容に説得力がある場合に、優位に評価する。
排水機場管理支援業務 堰管理支援業務	洪水時・地震時における設備トラブルなど緊急的な対応が求められる場合の対応方法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 緊急的な対応が求められる場合の取り組み(組織体制(バックアップ体制)・人材育成等)について、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務	道路許認可・適正化指導にかかる対応を円滑に進めるための工夫について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 許認可申請や、道路の適正利用・安全確保のための指導の対応方法について、具体的に記載されている場合に優位に評価する。
道路許認可審査・適正化指導業務 【特殊車両審査関係】	特殊車両通行許可申請書の到達から許可までの審査日数短縮にむけたマネジメントの手法について	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点・問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 特殊車両通行許可の審査日数短縮にむけた組織的なマネジメントの手法が具体的に記載され、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する
積算技術業務	積算技術業務を正確かつ効率的に実施するための具体的な取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 積算技術業務を正確かつ効率的に実施するための具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
技術審査業務	技術資料の分析・整理において、的確性かつ公平性を確保するための具体的な取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 技術資料の分析・整理において、的確性かつ公平性を確保するための具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 A	現場条件に応じた公衆災害及び労働災害防止のために本業務受注者が行う具体的な取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 現場条件に応じた公衆災害及び労働災害防止のために本業務受注者が行う具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。
工事監督支援業務 B	工事進捗状況の的確な把握及び工事の品質向上を図るために本業務受注者が行う具体的な取り組みについて	《的確性》 提案内容に必要な項目(①着眼点、問題点、②解決方法)が網羅されている場合に優位に評価する。 《実現性》 工事進捗状況の的確な把握及び工事の品質向上を図るために本業務受注者が行う具体的な取り組みについて、提案内容に説得力がある場合に優位に評価する。

※工事監督支援業務については、発注者が入札公告時に2テーマの中から任意に設定する。